

## 認定日本語教育機関実地視察報告書

### ○認定日本語教育機関の概要

機関名	千駄ヶ谷日本語学校				
機関所在地	東京都新宿区下落合1-1-6				
設置者名	学校法人千駄ヶ谷教育学園				
設置者所在地	東京都新宿区下落合1-1-6				
認定日	2024年10月30日				
合計収容定員数	1728人				
認定課程の設置状況					
課程名	課程分野	到達目標	修業期間	収容定員数	在籍者数
進学準備教育2年課程	留学	B2	2年	924	440
進学準備教育1年6か月課程	留学	B2	1年6か月	804	401

# 認定日本語教育機関実地視察に対する講評

実地視察日：令和8年1月23日（金）

実地視察機関：千駄ヶ谷日本語学校

## 【全般的事項】

○高い教育品質の維持・向上を目指す姿勢が、自己点検評価の結果からも明確に読み取れる。全体として自己評価の妥当性は高く、目標達成に向けた組織的な取組が機能している。

○大規模校ならではの強固な組織力を活かしつつ、生徒一人ひとりのニーズを捉えたきめ細やかな指導体制を維持しており、適切なキャリア支援が行われている。

## 【個別事項】

### 1. 設置者の要件等

○学校運営および教員組織の統率が非常に緻密であり、国際情勢を鑑みた学生募集戦略から、入学から卒業に至る一連のプロセスが経営層の適切な管理下で運用されている。

○多年にわたる教育実践の蓄積を背景に、安定した教育・運営基盤が維持されており、また、認定制度への移行に際して、早期から組織的な準備に着手し、日本語教育の質の向上に向け、継続的に真摯な取組がなされている点は評価できる。

### 2. 教員及び職員の体制

○大規模校として多数の教員が所属する中で、機関内で多層的な職位を設定し、教務管理体制を構築していることが確認できた。各層の職務分掌が明確に定義・文書化されており、組織的な指揮命令システムの安定性が確保されている。

○グループ機関の日本語教師養成講座とも連携しながら、一部補助制度も含めた教職員の職能に応じた多様な研修体系が整備されており、組織全体として教育力の底上げが図られている点は高く評価できる。

○機関内での相互の授業見学を通じた教員間の技術共有が推進されている。授業研究における評価指標のさらなる明確化を進めることで、組織的な教授技術の向上がより期待できる。

### 3. 施設及び設備

○施設の経年による物理的制約は一部見受けられるものの、学習環境としての安全性および利便性が確保されており、教育活動の質を損なうものではなく、環境維持および管理状況は概ね適切である。

### 4. 日本語教育課程

○カリキュラムやシラバス及び日々の授業報告のデジタル化が推進されており、教育現場における情報の可視化と、生徒の状況に応じた柔軟な情報共有が図られている体制は、教育の質を担保する上で有効に機能している。

○コース全体から各レベル、さらには毎回の授業に至るまで学習目標が精緻に構造化されており、それが教員のみならず生徒にも明確に共有されている点は、日本語教育課程の透明性と一貫性を確保する優れた取組であると言える。

○日本語教育の参照枠や関連法令の趣旨、及びそれを踏まえた機関の教育理念や教授手法について、実際に授業を行う個々の教員まで一貫して浸透し、日々の授業において高い次元で具現化されるよう、さらなる組織的な啓発と取組を期待したい。

### 5. 学習上及び生活上の支援体制

○学習者個別の「学習カルテ」が整備され、教職員間で、出席・成績・相談記録がオンライン上で即座に共有されており、問題の早期発見と迅速な支援が可能なシステムとして機能している。また、学生が教務担当者に直接対面で相談できる体制も確保されており、きめ細やかなサポートが実践されている。

### 6. その他、特記事項

○各種法定帳簿を含む管理情報の精度が極めて高く、事務工程のIT化・DX化による効率的かつ確実な校務運営が実現されている。